

# 「あつこころ」を道政に!

皆さまのお支えのおかげをもちまして、2025年に議員生活10周年を迎えました。おこしあつこは、これからも誰もが安心して暮らせるまちづくりを全力で進めます。



第1回定例会本会議一般質問

半導体産業の振興、女性活躍の推進へ

## おこしが道の積極的な取り組み促す



おこしは3月6日の一般質問で、半導体関連産業の振興に関連し、多くの学生が就職のために道外に流出する問題を指摘し、「若者が夢を持って就職し、暮らし続けられる北海道をなんとかしてつくりなくてはならない」と訴え、鈴木直道知事の決意をただしました。また、経済分野における女性活躍の推進についても、労働時間の短縮や仕事と子育ての両立に向けた道の積極的な取り組みを促しました。



道議会 文教委員長インタビュー

## いじめ・不登校対策の強化で「学び」を確保

—この一年の成果にはどんなものがありますか。

何と言っても学校エアコン整備ですね。道立高校や特別支援学校などへの冷房設備設置が予算に盛り込まれたのは、うれしかったです。

—今後力を入れたい課題は何ですか。

いじめ・不登校対策を強化すべきだと強く感じています。集団での学習になじめない児童生徒に対し、不登校になっても学びの機会が確保できるよう後押しします。また、教員不足や学力格差の是正に対応するためのICT活用をもっと強化する必要があります。

—学力・体力の向上にはどう取り組みますか。

授業についていけない子供に対するケアと、上位の優秀な生徒がさらに上を目指すための吹きこぼれ対策、この両方にしっかり対応し、一人ひとりに寄り添った教育環境の整備を進めていくべきだと思います。



▲委員長として議事を進行



▲遠隔授業配信センターを視察

感染症と自然災害から国民を守る

## 「日本武道館1万人大会」でスピーチ

昨年5月、東京・日本武道館で行われた「国民の命と生活を守る1万人大会」に出席し、岸田文雄総理をはじめ全国から集まった聴衆の前で演説を行いました。

このイベントは感染症や災害に強い社会づくりを目指す民間団体が主催したもので、憲法に緊急事態対応を明記する国会発議を求める地方議員を代表しておこしが登壇し、緊急時の国政選挙の延長、知事への権限移譲の必要性を説きました。



北海道医師会での勉強会に参加

## 子宮頸がんワクチンの有用性を学ぶ

昨年6月、北海道医師会で開かれた子宮頸がんワクチンについての勉強会に参加しました。

子宮頸がんはウイルス感染が主な原因とされますが、日本は感染予防のためのワクチン接種率が諸外国に比べて低く、国内では年間1万人以上が子宮頸がんを発症しています。

さまざまな考え方があるかと思いますが、接種を受けることによる副反応のリスク、受けないことによるがん化のリスク、その双方を適切に判断するための情報発信が必要だと感じました。



## 道政報告 道新年度予算案 3兆505億円

## GX・半導体の波及効果で経済活性化



おこしあつこは1月27日、道議会自民党議員会の役員らとともに道の令和7年度予算についての重点政策を鈴木直道知事に申し入れました。

内容はGX・半導体関連産業の振興、人手不足対策、公共事業予算の確保、防災・減災対策、農林水産業の振興など全13項目で、これを受け、鈴木知事は総額約3兆円の予算案を発表し、3月の第1回定例会で成立しました。引き続き地域経済の活性化に向けてしっかり取り組んでまいります。